

平成31年度 一般会計 予算内示 事業別概要書 (当初)

款	7. 土木費	大事業	3. (仮称) 佐倉西部自然公園整備事業
項	3. 都市計画費	中事業	
目	6. 公園費	担当所属	公園緑地課

予算種別	補助/単独	事業区分	前年度 当初予算額	増減額	前々年度 決算額	実施計画	5年間計画額	2016年度
臨時	単独	計画	0	0	15,494	第5章 基本施策6 施策1	住環境が整備された住みやすいまちづくり	216,572
							公園・緑地の整備	13,700
							身近な憩いの場を創出します	22,265
								25,420
								65,519
								89,668

本年度事業費	(歳入)	(歳出)
本年度当初要求額	174	
本年度当初査定額	174	7,113

財源内訳	使用料及び手数料	国	道	市	県	国庫	地方債	その他	一般財源
本年度当初要求額	0							174	△174
本年度当初査定額	174							0	6,939

<事業に関する説明>

<p>(事業の概要)</p> <p>委託：道路等公共用地測量業務委託 L=740m 景観保全・除草業務委託 A=12ha*1回 A=7.2ha*2回 巡回管理36回 地質調査業務委託(畔田地先) 2箇所 工事：多目的広場整備工事(下志津地先) A=10,000㎡ 負担金：土地改良区賦課金 公有財産購入：用地取得 畔田地先 A=約6,900㎡</p>	<p>(事業の目的)</p> <p>(仮称)佐倉西部自然公園整備基本計画に基づき、市民意見を反映しつつ、里山・谷津の景観を保全・再生することで、身近な自然環境にふれ合う機会や、自然から学ぶ機会の創出を図ります。また、里山自然環境を適切に維持保全することで、都市と農村との交流を図り、身近なふるさとの文化の継承を図ります。</p>	<p>(事業の効果)</p> <p>谷津田と斜面林が一体として残された里山自然環境を保全することで、手繰川・上手繰川の自然環境を借景として、身近な市民の憩いの場を創出することができます。また、保全のための方策として、市民の理解と協力を得ながら公園化を図り、望ましい維持管理を行いながら次世代に貴重な資産として里山自然環境を継承することが可能となります。</p>
<p>(事業実施上の問題点)</p>	<p>(前年度からの見直し点)</p> <p>下志津地先の多目的広場整備工事を行うため、要求額が増加しております。</p>	<p>(見積についての特記事項)</p>

節	本年度 当初査定額	前年度 当初予算額	増減額
13	6,930	10,080	△3,150
19	183	183	0

款	項	目	節	細節	細々節	歳入特定財源科目名称	本年度 要求額	本年度 査定額	前年度 予算額	増減額
特定財源	14	01	06	07	01	土地使用料	174	174	235	△61
	差引一般財源							△174	6,939	△235